

# 花巻中学校 1年1組 数 学 科 展 開 案

平成23年11月2日 13:30

学 級 1年1組 (男子16名 女子16名 計32名)

場 所 1年1組教室

指 導 者 教諭 八重樫 等

1 単元名 4章「比例と反比例」

2 展開

段 階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
8 分 展 開	1. 前時の復習をする。	○対応表カードで比例の復習をさせる。 ◎知識・理解 対応表から問いに答えられたか。 ○本時の学習課題を把握させる。
	2. 学習課題の確認をする。	
	学習課題 反比例とはどんな関係だろうか。	
3 4 分	3. 個人で取り組む。	○教科書P100のQに取り組ませる。 ◎表現・処理 図を書き、対応表にまとめられるか。 ○全体で確認する。
	4. 確認する。	
	5. 班で話し合う。 ①役割分担をする。 ②役割に基づき話し合う。 ③模造紙にまとめる。	○対応表からわかることを班で話し合わせる。 司会、記録、報告、時計、道具の5つに役割分担させる。 ◎数学的な見方や考え方 横の関係、縦の関係から関係がつけられたか。 ( $y$ を $x$ の式で表すとどうなるか) ◎関心・意欲・態度 自分の役割と合わせ、話し合いに関わられたか。 ☆【共感的理解の育み】 ☆【自己存在感への配慮】
	6. 班ごとに発表する。	○最初に①の発表をさせる。 ①の発表を3ヶ班、②の発表を3ヶ班 ○2番目以降の発表の班は他の班の発表を聞き、自分の班と同じところ、付け加えるところに留意させて発表させる。 ☆【共感的理解への育み】
終 末 8 分	7. 本時のまとめを行う。	○反比例についてどんな関係かまとめる。 言葉でまとめると…、式にすると…
	8. 次時の予告と家庭学習の指示をする。	○家庭学習の指示をする。(P86の①)

# 花巻中学校 1年2組 特別活動 展 開 案

平成23年11月2日 13:30

学 級 1年2組(男子15名 女子16名 計31名)

場 所 第1音楽室

指 導 者 教諭 槻館 恵

1 題材名 「望ましい人間関係の確立」

2 展開

段 階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
導 入	1. エナジャイザー を行う。	○気持ちを和らげる。 ○お互いの気持ちを通わせる。
5 分	2. 学習課題の確認をする。	○本時の学習課題を把握させる。
展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     学習課題                      仲間からの好ましくないプレッシャーに自己主張的に対応する方法を練習しよう。                 </div> 3. プレッシャーに対する3通りの対応を確認する。 ・受動的対応 ・攻撃的対応 ・自己主張的対応  4. グループで自己主張的対応の仕方を練習する。 ①役割分担をする。 ②役割に基づき練習する。  5. 練習したことを発表する。  6. 感想を発表する。	○どの対応が最も効果的だと思うかを考えさせる。 ◎思考 3通りの対応の仕方とそれに対する相手の反応を確認し、どの対応が最も効果的か考えることができたか。  ○好ましくない誘いをする側と自己主張的対応をする側に役割分担させる。 ◎関心・意欲・態度 意欲的に話し合いに参加しているか。 ☆【共感的理解の育み】 ☆【自己存在感への配慮】
3 5 分		○見ている生徒は、その対応のどこが自己主張的だったか考えさせる。 ◎思考 他の班の発表を聞き、様々な観点を見いだすことができたか。 ○他の班の発表から、自分たちの考え方との違いや共感したところを発表させる。 ☆【共感的理解への育み】 ☆【自己決定の重視】
終 末 1 0 分	7. 本時のまとめを行う。	○学んだことを実際に活用するために、これからどのように生活していけばよいか考えさせる。

# 花巻中学校 1年3組 社会科 展開案

平成23年度 11月2日 13:30

学 級 1年3組 (男子15名 女子16名 計31名)

場 所 1年3組教室

指 導 者 教諭 平澤 晋

1 単元名 第2編 「地域の規模に応じた調査」 第3章 「世界の国々の調査」

2 展開

段階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
導入 5分	1. 前時の復習をする。  2. 学習課題の確認をする。	○自己評価カードを配布する。 ○中国について知っていることをあげさせる。 ○本時の学習課題を把握させる。
展開	学習課題 13億もの人口を、どうやって支えているのだろうか。	
40分	3. 課題に対する予想を発表する。 4. 活動の仕方について確認する。 5. 支えている要因を考える。  6. 個人で考えた要因を3つに分類する視点について班で話し合う。 ①役割分担をする ②役割に基づき話し合う ③模造紙にまとめる 7. 班ごとに発表する。  8. 感想を発表する。	○数人の生徒に発表させる。 ○事前に調べた様々な要因を資料などから3つに分類する観点を考えさせる。(個人活動) ◎思考 中国の特色を農業・鉱工業・貿易の3つの要因に分類しているか。  ○司会、記録、報告、時計、道具の5つに役割分担させる。 ◎関心意欲態度 意欲的に話し合いに参加し、分類の観点を話し合っているか。 ☆【共感的理解の育み】 ☆【自己存在感への配慮】 個人で考えた観点を班内で発表しあい、まとめる ○どのような観点で分類したのかを発表させる。他の班の発表を聞き、様々な観点を発見させる。 ◎思考 他の班の発表を聞き、様々な観点を見いだすことができたか。 ○他の班の発表から、自分たちの考え方との違いや共感したところを発表させる。 ☆【共感的理解への育み】 ☆【自己決定の重視】
終末 5分	9. 本時のまとめを行う。 10. 自己評価カード記入及び家庭学習の指示をする。	○中国の発展と人口の関わり方の説明を行う。 ○家庭学習の指示をする。(ワークp30)

# 花巻中学校 1年4組 特別活動 展 開 案

平成23年度 11月2日 13:30

学 級 1年4組(男子15名 女子15名 計30名)

場 所 第2音楽室

指 導 者 教諭 高橋 有希

1 題材名 「思春期の不安や悩みとその解決」

2 展開

段 階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
導 入	1. エナジャイザーを行う。	○気持ちを和らげる。 ○お互いの気持ちを通わせる。
5 分	2. 学習課題の確認をする。	○本時の学習課題を把握させる。
展 開	学習課題 困難な状況に出会ったとき、自分の考えがどのように行動や感情に影響するか学ぼう。	
4 0 分	3. 例をもとに考え方、行動、感情のつながりを分析する。	○前向きな考え方と後ろ向きな考え方について分析させる。 ○数人の生徒に発表させる。
	4. 「頂上と谷底」の概念を紹介する。	◎理解 考え方が、行動や感情を変化させることを理解できたか。
	5. 班で状況をもとに、考え方を「谷底から頂上へ」変える練習をする。 ①役割分担をする。 ②役割に基づき話し合う。 ③模造紙にまとめる。	○司会、記録、報告、時計、道具の5つに役割分担させる。  ◎関心意欲態度 意欲的に話し合いに参加し、意見を出し合ったか。 ☆【共感的理解の育み】 ☆【自己存在感への配慮】
	6. 班ごとに発表する。	○どのような考え方、感情、行動があるか発表させる。他の班の発表を聞き、様々な考え方を発見させる。 ◎思考 他の班の発表を聞き、様々な考え方を見いだすことができたか。 ○他の班の発表から、自分たちの考え方との違いや共感したところを発表させる。 ☆【共感的理解への育み】 ☆【自己決定の重視】
	7. 振り返りを行う。	○今後前向きに考えたいことを考えさせる。
終 末 5 分	8. 本時のまとめを行う。	◎理解 困難な状況に出会ったとき、感情をコントロールし考えや行動を前向きなものにすることで、より健康的な生活が送れることを理解できたか。



# 花巻中学校 1年5・6組 (女子) 保健体育科 展 開 案

平成23年度 11月2日 13:30

学 級 1年5・6組 (女子32名)

場 所 格技場

指 導 者 講師 似内 恵

1 単元名 「体づくり運動」

2 展開

段階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
導入 10分	1. 体操・柔軟・補強運動をする。 2. 整列・あいさつをする。 3. 体ほぐし運動をする。 4. 学習課題の確認をする。	○効果的な動作となっているか、確認をする。 ○列、姿勢を正し、元気に挨拶をさせる。 ○明るく元気に楽しめるよう支援する。 ○本時の学習課題を把握させる。
展開	学習課題 色々なリズム運動を音楽に合わせて楽しもう。	
35分	5. 巧みな動きを高める運動① ウォーキングでリズム作り。  6. 巧みな動きを高める運動② (1) ペアを替えて行う。 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <span style="font-size: 2em;">{</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>手足体操</li> <li>前後腕回し</li> <li>ひねってハイタッチ!</li> <li>知恵の輪</li> </ul> </div> (2) 音楽を流して行う。  (3) グループで活動する。 ①役割分担 ②グループ練習  (4) グループで発表する。 (5) 感想を発表する。  (6) 全員で合わせる。	○リズムを作りながら、進めるように助言する。  ○運動の習得状況を確認する。 ○ペアで声を掛け合いながら、協力して取り組むように支援する。 ◎関心・意欲・態度 動きづくりを意欲的に取り組んでいるか。 ☆【自己存在感への配慮】 ○音楽に合わせてられるように支援する。 ◎思考 よりねらいに合った動きになるように工夫しているか。 ○司会、報告、時計、道具の4つに役割分担させる。 ☆【共感的理解の育み】【絆づくり】 ◎関心・意欲・態度 仲間と助言し合い、協力して活動しているか。 ☆【共感的理解の育み】 ☆【自己存在感への配慮】 ○他グループの発表を見て、様々な観点を発見させる。 ☆【共感的理解への育み】 ☆【自己決定の重視】 ○運動の習得状況を確認する。 ◎関心・意欲・態度 仲間と助言し合い、協力して活動しているか。
終末 5分	7. 整理体操をする。  8. 自己評価カードに記入する。 9. 次時の学習内容を確認する。 10. あいさつをする。	○特に使った部位を中心に行う。 ○適切な自己評価ができるように助言する。  ○列、姿勢を正し、元気に挨拶をさせる。

# 花巻中学校 1年5・6組 (男子) 保健体育科 展 開 案

平成23年度 11月2日 13:30

学 級 1年5、6組 (男子31名)

場 所 1年6組教室

指 導 者 教諭 岩角 聖孝

1 単元名 第1章 「心身の発達と心の健康」 3 「性機能の成熟(2)」

2 展開

段 階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
導 入 5 分	1. 前時の復習をする。  2. 学習課題の確認をする。	○前時の学習内容を確認する。 ○2次性徴が発現する時期には、女子では月経、男子では射精が起こることを確認させる。 ○本時の学習課題を把握させる。 ◎関心・意欲・態度 自分の体の問題として興味・関心を持ったか。
展 開	学習課題 月経や射精の起こる仕組みについて考えてみよう。	
35 分	3. 月経の起こる仕組みと受精・妊娠について知る。  4. 月経の周期や月経痛について知る。  5. 射精の起こる仕組みについて知る。  6. 月経や射精が起こるようになった意味を理解する。	○資料を使い、予想を立てさせながら説明する。 ◎関心・意欲・態度 意欲的に話し合いに参加し、自分の体の問題として興味・関心を持ったか。 ◎知識・理解 資料を参考にしながら、月経の起こる仕組みや受精と妊娠について理解することができたか。  ○月経時における周囲の配慮の大切さについても理解させる。 ◎思考・判断 日常生活で周囲の人が配慮しなければならないことを見いだすことができたか。 ☆【共感的理解の育み】  ○資料を使い、予想を立てさせながら説明する。 ◎関心・意欲・態度 意欲的に話し合いに参加し、自分の体の問題として興味・関心を持ったか。 ◎知識・理解 資料を参考にしながら、射精の起こる仕組みについて理解することができたか。  ○月経や射精を生命誕生との関わりで理解させる。 ◎思考・判断 大人の体に成長していることを理解し、自他の体や心を理解・尊重していくことの大切さを見いだすことができたか。 ☆【共感的理解への育み】
終 末 10 分	7. 本時のまとめをする。 8. 感想を発表する。  9. 次時の学習内容を把握する。	○学習プリントを使って、本時のまとめをさせる。 ◎関心・意欲・態度 自分の体と心の問題として関心や受容性を高めたか。 ☆【自己決定の重視】 ☆【共感的理解への育み】

# 花巻中学校 2年1組 英語科 展開案

平成23年度 11月2日 13:30

学 級 2年1組 (男子13名 女子20名 計33名)

場 所 2年1組教室

指 導 者 教諭 境 洋子

1 単元名 Unit 5 A Park or a Parking Area? (Reading for Communication)

2 展開

段階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
導入	3分前より基本文の練習をする。 1. 基本文のテストをする。 2. Warm-up (10 Questions)  3. 前時の復習をする。 4. 学習課題の確認をする。	○自己評価カードを配布する。 ☆基本文テストの取り組み【自己決定の重視】 ☆英語学習の雰囲気作り ☆グループによる速読の取り組み 【自己存在感への配慮】 ○本時の学習課題を把握させる。
15分展開	学習課題 新聞記事を完成させよう。	
30分	5. 記事に必要な項目を確認する。  6. 活動の仕方について確認する。 ①役割分担をする。 ②共同作業をする。 ③用紙にまとめる。 ④発表する。  7. メモをもとに、新聞記事を完成させる。 ①役割分担をする。 ②共同作業をする。 ③模造紙にまとめる。  8. 班ごとに発表する。	○5W1Hの意味を理解させる。  ○教科書p54の問題に取り組みながら確認する。 ○司会、記録、報告、時計、道具の5つに役割分担させる。 ◎理解 書かれてある内容を理解し、5W1Hに合わせてメモをならべかえ記事を完成させることができたか。 ◎関心意欲態度 意欲的に話し合い、みんなで記事を完成させようとしているか。 ☆【共感的理解の育み】 ☆【自己存在感へ配慮】  ○メモのピースを各班に配布し、それぞれ意味の通る記事を作成させる。 ◎理解 書かれてある内容を理解し、5W1Hに合わせてメモをならべかえ記事を完成させることができたか。 ◎関心意欲態度 意欲的に話し合い、みんなで記事を完成させようとしているか。 ☆【共感的理解の育み】 ☆【自己存在感へ配慮】
終末	9. 本時のまとめを行う。 10. 次時の予告をする。  11. 自己評価カード記入する。	○完成させた記事のうち1つをノートに書き留めさせる。
5分		

# 花巻中学校2年2組 理科 展開案

平成23年度11月2日13:30

学 級 2年2組 (男子13名 女子20名 計33名)

場 所 第1理科室

指 導 者 教諭 及川 秀明

1 単元名 1分野 4 「化学変化と原子・分子」 第1章 「物質の変化」

2 展開

段階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
導入  10分	1. 前時の復習をする。  2. 学習課題の確認をする。	○ 自己評価カードを配布する。 ○ カルメ焼きの実験を想起させ、炭酸水素ナトリウムに着目させる。 演示：炭酸水素ナトリウムを実際に加熱してみる。 炭酸水素ナトリウム→ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">気体</span> + <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">液体</span> + <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">固体</span> ○本時の学習内容を把握させる。
展開	学習課題 炭酸水素ナトリウムを熱すると、どのような物質に変化するのか調べよう。	
35分	3. 課題に対する予想・解決方法を検討する。 (1) はじめは個人で考える。 (2) 次に班で検討する。 (物質、調べる方法)	○学習課題に対して個人で予想を立て、その後各班で検討させる。 ◎関心・意欲・態度 自ら予想を立て、それを調べる方法を考えることができたか。 ☆【自己決定の重視】 ☆【自己存在感への配慮】
5分	4. 実験を行う。  5. 実験結果をまとめる。	○実験手順の確認をする。 ◎技能・表現 自分が考えた実験方法で物質を特定することができたか。 ○各班で考察させ、模造紙に結果を記入させる。 ☆【自己存在感への配慮】
終末 5分	6. 各班の発表と考察を行う。  7. 本時のまとめを行う。  8. 自己評価カード記入及び家庭学習の指示をする。	○各班の結果を発表させる。 ☆【共感的理解への育み】 ○それぞれの発表結果をもとに学習を振り返らせる。また、分解の一般化を行い、学習内容の定着をはかる。 ○家庭学習内容を確認する。水はさらに分解できないかの予告をする。

# 花巻中学校 2年3組 数 学 科 展 開 案

平成23年度11月2日13:30

学 級 2年3組(男子13名 女子21名 計34名)

場 所 2年3組教室

指 導 者 教諭 小野 齊 (T1)

村松 伴典 (T2)

1 単元名 4章「平行と合同」

2 展開

段階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
導入  5分  展開	1. 前時の復習をする。	○平行線の性質, 三角形の角について性質を想起させる。
	2. 学習課題の確認をする。	○本時の学習課題を把握させる。
	学習課題 図形の性質を利用して、角の大きさの求め方を考えよう。	
43分	3. 問題1に取り組む。	○数人の生徒に発表させる。 ◎思考 根拠を説明することができたか。
	4. 問題2を提示する。	○個別に取り組ませる。
	5. 班で話し合う。 ①役割分担をする。 ②役割に基づき話し合う。 ③模造紙にまとめる。	○個人で考えた解き方をもとに答えを求めるに至る根拠を班で話し合わせる。 司会、記録、報告、時計、道具の5つに役割分担させる。 ◎関心・意欲・態度 意欲的に話し合いに参加し、説明の仕方を出し合えたか。 ☆【共感的理解の育み】 ☆【自己存在感への配慮】
	6. 班ごとに発表する。	○どのような性質を利用して角の大きさを求めたのかを発表させる。他の班の発表を聞き、様々な考え方を発見させる。 ◎思考 他の班の発表を聞き、様々な考え方を見いだすことができたか。
	7. 感想を発表する。	○他の班の発表から、自分たちの考え方との違いやその考え方の良さを発表させる。 ☆【共感的理解への育み】 ☆【自己決定の重視】
終末 2分	8. 本時のまとめを行う。	○凹四角形の角の大きさの求め方を確認しながら、様々な角の大きさを図形の性質を利用して求めることができることを理解させる。
	9. 次時の予告をし、家庭学習の指示をする。	○家庭学習の指示をする。(ワークp71)

# 花巻中学校 2年4組 特別活動 展 開 案

平成23年度11月2日13:30

学 級 2年4組(男子13名 女子20名 計33名)

場 所 2学年生徒活動室

指 導 者 教諭 畠山 直樹

1 題材名 「理想の3年生と今の自分」

2 展開

段 階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
導 入 1 0 分 展 開	1. エナジャイザーを行う。	○個人・学級の雰囲気と和ませる。 ○学級のいろいろな仲間と関わり合わせる。
	2. 学習課題の確認をする。	○本時の学習課題を把握させる。
3 5 分	学習課題 理想の3年生像（リーダー像）と今の自分を比べ、これからの目標を立てよう。	
	3. 理想の3年生（リーダー）を考える。	○リーダーとしての資質を経験から想起させる。 ○数人の生徒に発表させる。 ◎思考 様々なリーダー像から、いろいろな資質を考えることができたか。
	4. 班ごとに理想の3年生像について話し合い、まとめる。 ①役割分担をする。 ②役割に基づき話し合う。 ③模造紙にまとめる。	○司会、記録、報告、時計、道具の5つに役割分担させる。 ◎関心・意欲・態度 意欲的に話し合いに参加し、意見をまとめようとしているか。 ☆【共感的理解の育み】 ☆【自己存在感への配慮】
	5. 班ごとに発表する。	○他の班の発表を聞き、様々な観点を発見させる。 ◎思考 他の班の発表を聞き、様々な観点をみいだすことができたか。 ☆【共感的理解への育み】
	6. 各班からの意見をもとに、自分が大事にしたい資質を考える。	○個々に学習シートに記入させる。 ☆【自己決定の重視】
	7. 大事にしたい資質から今の自分の課題を見つめ、目標を考える。	
	8. 理想の3年生に近づくための目標を発表する。	○数人の生徒に発表させる。 ☆【共感的理解の育み】
終 末 5 分		



# 花巻中学校 3年1組 特別活動 展 開 案

平成23年度11月2日13:30

学 級 3年1組(男子19名 女子17名 計36名)

場 所 3年1組教室

指 導 者 教諭 中村 正樹

1 題材名 「望ましい人間関係の確立」

2 展開

段 階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
導 入 1 0 分	1. エナジャイザーを行う。  2. 学習課題の確認をする。	○気持ちを和らげる。 ○お互いの気持ちを通わせる。  ○本時の学習課題を把握させる。
展 開  3 5 分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                         学習課題                          友人関係における争いごとを解決する建設的な方法を学習しよう。                     </div> 3. たとえ親友でも議論や言い争いが起きるのはなぜか考える。  4. 問題解決スキルを紹介する。 (か・い・け・つ)  5. 班で課題を解決する。 ①役割分担をする。 ②役割に基づき話し合う。 ③模造紙にまとめる。  6. 班ごとに発表する。   7. 大切な友人を思い浮かべ、その人の長所を書く。	○課題を自分の生活に想起させる。 どんなに仲の良い友人の間でも月日が経てば、意見の不一致や争いごとを経験するものである。 ○数人の生徒に発表させる。  ○問題解決スキルステップを見せながら説明する。  ○司会、記録、報告、時計、道具の5つに役割分担させる。 ◎関心・意欲・態度 意欲的に話し合いに参加し、分類の観点を出し合えたか。 ☆【共感的理解の育み】 ☆【自己存在感への配慮】 ○他の班の発表を聞き、様々な観点を発見させる。 ◎思考 他の班の発表を聞き、様々な観点を思い出すことができたか。 ○他の班の発表から、自分たちの考え方との違いや共感したところを発表させる。 ☆【共感的理解への育み】  ☆【自己決定の重視】
終 末 5 分	8. 本時のまとめを行う。	◎理解 友人関係における争いごとを解決する建設的な方法を理解できたか。

# 花巻中学校3年2組 理科 展開案

平成23年度11月2日13:30

学 級 3年2組 (男子18名 女子16名 計32名)

場 所 第2理科室

指 導 者 教諭 嶋 歩

1 単元名 6 「地球と宇宙」 第2章「惑星と恒星」

2 展開

段階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
導入 10分	1. 前時の復習をする。  2. 学習課題の確認をする。	○自己評価カードを配布する。 ○月の観察結果を発表させる。 ◎観察・実験の技能・表現 月の位置、形を観察、記録できたか。 ○本時の学習課題を把握させる。
展開	学習課題 月の満ち欠けの仕組みを調べよう。  3. 課題に対する予想を発表する。 ・月に関する知識を確認する。  4. 実験方法について確認する。  5. グループに分かれて実験を行う。 ①役割分担をする。 ②役割に基づき、実験を行う。 ③実験結果をまとめる。  6. グループごとに発表する。	○数人の生徒に発表させる。 ◎科学的な思考 月の光り方からどのようなことが起こっているのか 予想できたか。 ○事前に調べた月の観察の記録を参考に考えさせる。 (個人活動) ○実験方法の説明をする。  ○月、地球、太陽の3つに役割分担させる。 月が公転したとき、地球からどのように見えるかを確認する。 ◎関心・意欲・態度 積極的に実験に参加しているか。  ☆【共感的理解の育み】 ☆【自己存在感への配慮】
30分	7. 感想を発表する。	○他のグループの発表から、自分たちの考え方との違いや共感したところを発表させる。 ◎科学的な思考 実験結果から月がどのような位置にあるとき満ち欠けをするのか、月が地球の周りを公転していることに関連付けて説明できたか。 ○数人の生徒に発表させる。
終末 10分	8. 本時のまとめを行う。  9. 自己評価カード記入及び家庭学習の指示をする。	○月の満ち欠けのしくみをまとめる。 ◎知識・理解 月の満ち欠けの仕組みを理解することができたか。



# 花巻中学校3年4組 国語科 展開案

平成23年度11月2日13:30

学 級 3年4組 (男子19名 女子17名 計36名)

場 所 3年4組教室

指 導 者 教諭 岩 淵 陽

1 単元名 4 「古典を楽しむ 『古今和歌集 仮名序』」

2 展開

段 階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
導 入 1 0 分	1. 既習事項を確認する。 2. 学習課題の確認をする。	○1・2年次の古典の学習を想起させる。 ○「古今和歌集」と仮名序について解説する。さらに、和歌についても説明する。
展 開	学習課題 「古今和歌集 仮名序」を声に出して読み、古文の言葉のリズムや響きを味わおう。	
3 5 分	3. 現代語訳を読む。 4. 原文を読む。 5. 原文の表現の特徴を理解する。 6. 班で音読に挑む。	○教師の範読の後、生徒に音読させる。 ○解説を加えながら内容をとらえさせる。 ◎読む 和歌の本質を植物にたとえている事を理解し、昔の人がとらえている和歌の持つ力について読み取っているか。 ○教師の範読の後、生徒に音読させる。 ○全体で点・丸読みをさせる。 ○解説を加えながら内容をとらえさせる。 ○歴史的仮名遣い、文末表現、対句表現、係り結び等を理解させる。 ◎読む・言語事項 古文特有の表現に気づいているか。
3 5 分	7. 班ごとに発表する。	○練習の成果を発表させる。 ◎関心・意欲・態度 責任を持って自己の役割を果たしているか。 ◎読む・言語事項 表現の特徴や言葉遣いに注意しながら、すらすら音読しているか。 ☆【自己決定の重視】
終 末 5 分	8. 本時のまとめをする。 9. 次時の予告をする。	○仮名序に書かれていた和歌の本質等を再確認させる。 ○補助資料を提示する。 ○「君待つと一万葉・古今・新古今一」で和歌を学習することを予告しておく。

# 花巻中学校3年5組 数 学 科 展 開 案

平成23年度11月2日13:30

学 級 3年5組 (男子18名 女子18名 計36名)

場 所 3年5組教室

指 導 者 教諭 菊池 敦志

1 単元名 5章 相似な図形

2 展開

段 階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
導 入 5 分	1. 数当てと前時の復習をする。 2. 学習課題の確認をする。	◎関心・意欲・態度 意欲的に取り組んでいるか。 ○本時の学習課題を把握させる。
	学習課題 相似な図形の性質を考えよう。	
展 開          40 分	3. 課題に対する予想を発表する。 4. 活動の仕方について確認する。 5. グループごとに考える。  6. グループごとに発表する。  7. 発表のまとめをする。  8. 個人で考える。	○数人の生徒に発表させる。 ○司会、記録、報告、時計、道具の5つに役割分担させる。 ◎関心・意欲・態度 積極的に話し合いに参加しているか。 ☆【共感的理解の育み】 ☆【自己存在感への配慮】 ○図を書いたり、補助線を引いたりして考えさせる。 ○2倍3倍のときについて考えさせる。 ◎関心・意欲・態度 意欲的に発表を聞くことができたか。 ☆【共感的理解への育み】  ◎生徒の感想でまとめる。 ○ガリバー旅行記の中での記述にもふれる。 まだ、すべての図形について調べたわけではないので、あくまで予想としてまとめる。  ◎数学的な見方や考え方 他の班の発表を聞き、様々な観点を見いだすことができたか。 ○補助線を入れて考えさせる。 ○どのようなことがわかるか、まとめさせる。 ☆【自己決定の重視】
終 末 5 分	9. 本時のまとめを行う。 10. 次時の予告をする。	○用語についてもふれる。  ○次時の学習内容の説明をする。



# 花巻中学校特別支援学級 生活単元学習 展 開 案

平成23年度11月2日13:30

学 級 さくら・こぶし・ぼぶら

(1年男子3名 女子2名 2年女子2名 3年男子2名 計9名)

場 所 こぶし教室

指 導 者 教諭 貴依富美恵、及川 由美

指導教諭 滝田 充子

1 単元名 「ふれあい文化祭の展示作品を制作しよう～モダンテクニックを使用して～」

2 展開

段階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
導入 10分	1. エナジャイザーを行う。 2. 学習内容の確認をする。 3. 作品に込める思いの発表をする。 4. 学習課題を把握する。	○エナジャイザーを行い、学習に対する意欲を喚起させる。 ○本時の学習を提示し、視覚的に学習内容を把握させ、見通しをもたせる。 ◎関心・意欲・態度 意欲的に話し合いに参加し、自分の考えを発表することができたか。 ☆【自己決定の重視】 ○計画表を使って、自分の思いや考えを発表させ、作品制作の目的を意識づける。 ○友達の発表を聞いて、自分の作品と同じ点、違う点をイメージさせる。 ○Hさんが進行役を務め、順番を決めて発表する。 ○Fさんの状態に応じて、個別の対応を行い、その場で可能な最善の方法で支援する。 ○本時の学習課題をみんなで読み上げ、課題について確認させる。
展開 37分	学習課題 モダンテクニックを使ってウミウシに彩色しよう。 5. モダンテクニックの技法を使い作品を制作する。	○計画表を使って、モダンテクニックの技法を確認し、自分の思いをどのように表現するか確認して制作に取り組ませる。 ☆【共感的理解の育み】 ○一人一人の目標を確認し、見通しをもって活動できるように配慮する。 ○先を急いで作業が雑になるAさんには、「すこしづつ」「あせらない」ことを伝える。 ○作業することに苦手感が強いBさん、Eさん、Dさんには友達の作業の様子を見せながら、自分から「なんとかなる」という気持ちをもって取り組めるように励ます。 ◎関心・意欲・態度 意欲的に作品制作に取り組むことができたか。
終末 3分	6. 感想を発表する。 7. 本時のまとめと次時の確認をする。	○制作しての感想を発表させる。 ☆【共感的理解の育み】 ○活動の様子についてまとめ、次時の予告を行って、意欲を次につなげる。